

お役立ち情報・リンク集

●公益財団法人かながわ国際交流財団

◎ **かながわ・こみゅにてい・ねっとわーく・さいと**
<http://www.kifjp.org/kcns>

多言語資料や支援者向け情報などの紹介。

◎ **やさしい日本語でコミュニケーション (ダウンロード可)**

<http://www.kifjp.org/shuppan/leaflet>

外国人に分かりやすく情報を伝えるポイントの紹介。

●財団法人自治体国際化協会

◎ **多言語情報作成マニュアル**

<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/docs/culture01.pdf>

自治体の担当者向けに、多言語資料作成のポイントを紹介。

◎ **多言語生活情報**

<http://www.clair.or.jp/tagengo>

外国人住民が必要な生活情報を 13 言語で作成。



公益財団法人 **かながわ国際交流財団**
Kanagawa International Foundation

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8 第一安田ビル4階

TEL ▶ **045-620-0011** FAX ▶ **045-620-0025**

メールアドレス ▶ **tabunka@kifjp.org**

URL ▶ **http://www.kifjp.org**

※このパンフレットは「防災・減災」「健康・保健」「出産・子育て」「コミュニティ」というテーマでも発行しています。財団のホームページでもダウンロードできますので、ご活用ください。



あなたならどうする？

道路交通法が改正され、自転車のルールも変わりました。自転車運転中の携帯電話の使用禁止などに加えて、路側帯の右側通行などにも罰則が科されるようになりました。正しい自転車の乗り方について外国人住民にも知らせるために、役所で多言語のパンフレットを作成することになりました。便利で身近な乗り物である自転車を安全に使い、外国人住民が被害者にも加害者にもならないために、多様な媒体を使って周知をしていこうと話合っています。

支援者のためのチェックリスト

- 多言語情報を届けたい対象は明確になっていますか？
- 他部署や他の自治体で類似する多言語資料があるか確認しましたか？
- 伝えたい内容は簡潔にまとまっていますか？
ルビやイラスト、写真などの入った読みやすいものになっていますか？
- 作成する多言語情報は、紙以外の媒体での普及を考えていますか？



公益財団法人 **かながわ国際交流財団**
Kanagawa International Foundation

外国人住民の定住化が進んでいますが、日本語の情報にアクセスし、活用することはむずかしいのが現状です。必要な情報を厳選して多言語化して提供できれば、よりよい住民サービスにつながります。また、多言語化ができない場合は、やさしい日本語に言い換えるなどの工夫ができます。

多言語情報を届けるポイント

やさしい日本語と多言語で作成

- その1▶ 一文を短く、伝えたい情報をコンパクトにまとめる
- その2▶ イラストや図、写真などを入れてわかりやすく
- その3▶ 重要な用語は、翻訳だけでなく、ルビふりやローマ字も併記する
(例) Child allowance 児童手当^{じどうてあて} “Jido Teate”

普及のアイデア

自治体の窓口だけではなく、地域の日本語教室やエスニックレストラン、食材店、外国人児童生徒が多く在籍する小中学校などで配布すると、多くの人に情報が届きます。日本語教室やお店で多くの外国人住民に接する人たちは、行政との橋渡し役を担うことができます。そのようなキーパーソンには印刷物を送付するだけでなく、一言加えて手渡しすると情報が伝わりやすくなると言われています。

他の自治体の資料も参考に

防災や保健、教育関係の情報は多くの自治体でも多言語資料が発行されており、ダウンロード可能な資料もあります。それらを参考にするなど、有効に活用したいものです。

時には楽しい情報も

「子どもと出かけられる場所を知りたいな」「フリーマーケットの開催はいつかな？」外国人住民の関心が高い観光や地域のイベント情報と諸制度の変更など大切な行政情報をセットで届けると、手に取ってもらいやすくなります。また、海水浴場の情報とともに安全な楽しみ方について呼びかけるなどの工夫もできます。

いろいろな媒体を活用して

印刷物だけでなく、下記のようなさまざまな媒体を活用すれば、より多くの人に情報を届けることができます。

多言語ホームページ

外国語専用のサイトを設けている自治体のほか、自動翻訳システムを導入している自治体もあります。外国語ページのリンクを見つけるのがむずかしいため、URL の存在を知ってもらう広報も工夫しましょう。国や他の自治体の多言語資料のリンクもあると便利です。

多言語情報メール

外国人住民に直接情報を届けられるメール配信も有効です。メール配信にはアドレスの登録が必要なため、当財団では、QR コード入りのチラシを配布して広報する工夫も行なっています。

- ◎ 多言語情報メール INFO KANAGAWA (生活情報を月4回程度配信)
<http://www.kifjp.org/infokanagawa>

ラジオ

阪神淡路大震災や東日本大震災発生時もコミュニティラジオ放送が活躍しました。非常時だけでなく、平素から生活情報も提供できる手段です。神奈川県内でも、多くの地域 FM 放送局が多言語で行政ニュースを伝える番組を放送しています。

- ◎ かながわ・こみゆにてい・なっとわーく・さいと「NEWS・コミュニティ FM・情報誌」
<http://www.kifjp.org/kcns/fm>

アイデアグッズで多言語の情報普及

持ち歩きに便利なポケットティッシュやボールペン、冷蔵庫に貼れるマグネットなども多言語情報の伝達に効果的です。外国人が集まる場所に掲示できる多言語ポスターや多言語版の防災手ぬぐいなどが活用されています。